

8-4-29 環境配慮専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 環境配慮専門委員会の開催

専門委員会は12回開催した。

(2) マネジメントセミナー

セミナーでは、「建設コンサルタントの環境配慮とマネジメント」をテーマとして、環境配慮に係る最近の動向、「環境配慮の手引き 2018」の活用について説明した。

国内外の動向として「SDGs とは」、「リスク及び機会」及び「景観形成とグリーンインフラ」を説明した。次に「グリーンインフラ」の定義について説明するとともに、整備例として「緑の防潮堤」の状況、清水建設技術研究所ビオトープ「再生の杜」、NEXCO の地域性苗木の植栽例を紹介した。また、官民連携による仕組みづくりとして、茨城県守谷市と㈱福山コンサルタントが、グリーンインフラによる地域課題の解決や地域活性化を目指して包括連携協力の協定を締結した事例を紹介した。一方、景観配慮については最近の動向を説明し、九頭竜川鳴鹿大堰事業、及び淀川総合水系環境整備事業における景観整備の内容を紹介した。

「環境配慮手引き 2018」の活用では、平成30年3月に協会ホームページに掲載された手引きについて、「3. 環境配慮の進め方」では「詳細設計照査要領」からみた環境配慮の視点を述べ、「4. 環境関連情報リスト」において最新の環境情報を見直しハイパーリンクを修正、追加したことや実際の業務での使い方を解説した。

(3) 土木学会論文発表

『建設コンサルタントの環境配慮と「環境配慮の手引き」の発行』と題し、企業アンケート結果を取りまとめた、土木学会建設マネジメント委員会主催の研究発表・討論会にて発表した。

(4) 持続可能なまちづくりに関する現地視察

平成30年12月10日に専門委員会委員によって、藤沢サステイナブルスマートタウン (SST) の施設見学及び境川遊水地公園現地踏査を行っ

た。なお、藤沢 SST の事例は、次年度セミナーでの事例紹介の題材とすることにした。

(5) 講演会の開催

SDGs やパリ協定など持続可能な国際的潮流を受けて、環境と社会・経済が好循環する持続可能な社会を構築していくために、我々建設コンサルタントは様々な地域の関係者と連携し、積極的に環境配慮に取り組んでいくことが極めて重要になってきている。このような状況を踏まえて平成31年1月28日に、国土交通省総合政策局環境政策課から「国土交通省の環境政策の課題と建設コンサルタントへの期待について」、奈良県吉野郡十津川村からは「持続可能な森林保全及び観光振興による十津川村 SDGs モデル構想」についてご講演いただいた。

(6) 「環境配慮の手引き 2018」のメンテナンス

「4. 環境関連情報リスト」に掲載した情報のうち、ウェブページにアクセスできない情報が多くなっていることから、最新のリンク先への更新などのメンテナンス作業に取り掛かった。

(7) 環境配慮に関するアンケート実施の準備

SDGs に関連する情報、グリーンインフラの事例、環境配慮による効果など新たな環境配慮の課題に対する企業と技術者の実態を把握するために、企業代表者、技術者向けのアンケート調査票を作成した。

2. 次年度の活動について

(1) マネジメントセミナーでは、新中期行動計画に示された「環境配慮経営の実践」をもとに、「環境配慮経営に向けて」と題して、国内外の動向、アンケート調査結果、持続可能な地域づくりの事例紹介を行う。

(2) 「環境配慮の手引き 2019」をホームページに掲載し、会員企業への周知を図る。

(3) 「勉強会」を開催するとともに、関係者へのヒアリングや視察によって事例研究を行う。

(環境配慮専門委員会委員長 荒川 仁)